

## 第19回動脈硬化教育フォーラムを開催して



江頭 健輔 会長 開会の辞

第19回動脈硬化教育フォーラムを「脂質異常症治療 update – スタチン時代の脂質リスクと炎症リスクを識る –」をテーマとして、2019年2月3日に電気ビル共創館・本館(福岡市)で開催させて頂きました。おかげさまで、本フォーラムでは367名(医師189、メディカルスタッフ172名、学生6名)、市民公開講座では62名の方々に参加して頂き、盛会のうちに会を終えることができました。心より御礼申し上げます。

本フォーラムは医師会員だけでなく、広く、メディカルスタッフ(管理栄養士、保健師等)の方々の参加を促進することを目標としています。その学会の方針に沿って、多面的な企画を取り入れました。脂質異常症～動脈硬化性疾患の診療・指導などに関わる多職種の皆様の知識をUPDATEする機会になるだけでなく、臨床の現場で役に立つように企画しました。

本フォーラムは今回初めて4会場を使用した最大規模のフォーラムとなりました。第一会場では例年通り、「教育講演」において、疫学・病理・脂質・炎症に関する最先端の話題を提供して頂きました。新しい抗体医薬やPPAR $\alpha$ アゴニストなどの登場によって、その未解決の脂質異常症治療に対する新たな展開を感じて頂き、さらに、動脈硬化性心血管イベントにおける「脂質リスク」と「炎症リスク」の重要性を認識して頂けたことと思います。また、本学会の社会貢献の取り組み・成果として、特別企画「スタチン・フィブラート系薬併用原則禁忌の解除」「スタチン不耐への対応」を紹介しました。ホットトピックス「薬に頼らない動脈硬化リスク管理」や、本学会が協力しているEWTOPIA75試験結果報告にも多くの方々に参加して頂きました。



動脈硬化と炎症・免疫：最近の話題：居石克夫先生



EWTOPIA75 試験結果報告：大内尉義先生

第二会場では、栄養部会に「管理栄養士セミナー」を企画していただき、「動脈硬化性疾患患者の栄養管理」を参加型の症例検討で盛り上げて頂きました。「医学倫理教育セミナー」では研究倫理の原点についてわかりやすく指導頂きました。午後からの「市民公開講座」では「動脈硬化性脳心血管病の危険なサインを見逃さない ～いのちを守るために知っておきたいこと～」のテーマで市民の方々に分かりやすいお話をして頂きました。特に、日本循環器学会・アメリカ心臓学会認定の指導資格を持つ医師・看護師の指導の下で実施した「心肺蘇生実習」は大変好評で、終了後、講師らは参加者から熱心な質問をうけていました。第三会場では、「動脈硬化性疾患予防ガイドライン2017」の地域医療における活用を促進するために、保健師や高血圧・循環器病予防療養指導士を対象としたセミナーを開催しました。第4会場では、本フォーラムの初めての企画として、「診断技術向上セミナー」を同時開催させて頂き、同セミナー参加者と本フォーラム参加者の相互交流が促進されました。

最後に、本フォーラムの準備、企画、運営に関わり支援頂いた会員ならびに非会員の皆様のご支援のおかげをもちまして、無事終了することができました。有り難うございました。

第19回動脈硬化教育フォーラム  
会長 江頭 健輔  
九州大学循環器病未来医療研究センター



診断技術向上セミナー 座学



診断技術向上セミナー ハンズオン



高血圧・循環器病予防療養指導士セミナー



市民公開講座